幼稚部の卒業証書授与式が、感動と拍手の中、無事に終了しました。

令和3年3月９日（火）　篠原校長

本日10時30分より本校幼稚部の卒業証書授与式が行われました。コロナ対策のために、保護者の参列やご来賓の人数削減、式の時間短縮、マスク着用での参加等、制限はありましたが、まずは無事に開催できたことを嬉しく思います。卒業生は晴れの舞台で堂々と入場し、立派なしぐさ・態度で卒業証書を受け取りました。本当に立派に成長したと感慨深いものがありました。きらきら光る純粋な瞳、何事にも一生懸命な姿、元気の良い挨拶や満面の笑顔を忘れずに、小学校へ進学してください。

令和3年3月9日幼稚部卒業証書授与式　卒業のぞう組さんは、立派な態度で卒業証書を受け取りました。

令和２年度　幼稚部第５６回　卒業証書授与式　校長のことば（一部抜粋）

ぞう組の皆さん、卒業おめでとうございます。

今、一人一人に卒業証書を渡しました。大きな声の返事、背筋をピンと伸ばした歩き方、丁寧なお辞儀、受け取り方、どれも大変上手にできました。校長先生を見つめる瞳の輝きや、堂々とした態度を見て、立派に成長したことをうれしく思います。

幼稚部の三年間で、たくさんお話ができるようになったり、絵や工作が上手になったり、鉄棒や跳び箱の難しい運動ができるようになったり、歌や踊りが上手になったり、給食を残さず早く食べられるようになったり、できるようになったことは、数えられないほどたくさんあります。

また、絵本をたくさん読んでお話の続きを考えられるようになったり、豆まきの鬼を見ても泣かなくなったり、友達と仲良く遊び、けんかをしてもすぐに仲直りできるようになったり、心も強く豊かになりました。うさぎ組、くま組のお友達にも、やさしくいろんなことを教えてくれましたね。本当にかっこいいおにいさん、おねえさんになりました。

四月からは、一年生です。新しいことがたくさん始まります。勉強や運動をがんばり、お友達をたくさん作ってください。はじめは、分からないことや、難しいことがあるかもしれません。でも、皆さんなら大丈夫です。幼稚部でがんばってできるようになったことを思い出し、これからも、色々なことに挑戦して、元気いっぱいの小学生になることを願っています。

それでは、幼稚部を卒業する皆さんの健やかな成長と、ご参列の皆様のご多幸をお祈りして、校長のことばといたします。

令和三年三月九日

福岡県立福岡聴覚特別支援学校　校長　篠原　幹浩